

浜の活力再生プラン

令和 6 ～10 年度

第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	高知地区地域水産業再生委員会中芸部会
代表者名	大西 洋三（高知地区地域水産業再生委員会中芸部会長）

再生委員会の構成員	高知県漁業協同組合、奈半利町、田野町、安田町 高知県室戸漁業指導所
オブザーバー	なし

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地域 高知県安芸郡奈半利町（加領郷地区）、田野町、安田町 対象漁業種類 大型定置網（3 経営体）、釣り、建網等（兼業含む 17 名） （令和 5 年 11 月 1 日現在）
-------------------	--

2 地域の現状

（1）関連する水産業を取り巻く現状等

本地域の水産業は、主に水揚げの約 70%を占める釣り漁業と水揚げの約 30%を占める大型定置網漁業の 2 つの漁業種類で構成されている。加えて、釣り漁業者は建網漁も兼業で営んでおり、多様な魚種が水揚げされている。

釣り漁業では、これまでキンメダイやスルメイカ、さば類を主要漁獲対象としてきた。特にキンメダイについては、高知県東部地区の漁協・市町村・漁業者団体等で構成される「芸東水産業改良普及協議会」が平成 16 年から高知県東部地区で漁獲されるキンメダイを日戻り高鮮度を売りとして「土佐沖どれ金目鯛」と銘打ち、認知度向上や販路拡大に向けて取り組み、プライドフィッシュにも登録されるなど高い評価を得てきた。しかし、近年これら主要漁獲対象種の漁獲量は激減しており、漁業者はキハダやカツオの漁獲で生計を立てようとしている。しかし、現在の漁獲金額は従来水準に満たない上、燃油や資材の単価の高騰による漁業経費の大幅な増加が漁業経営を圧迫し、非常に厳しい現状となっている。

あじ類、さば類、いわし類を主要漁獲対象とする大型定置網漁業においても、各経営体の経営状況は厳しい。さば類やいわし類、スルメイカといった主要魚種の資源量や来遊量の減少に加え、資材費の高騰や台風や急潮による操業機会の減少・漁具被害の影響も大きく、漁

業経営は年々厳しさを増している。これらの状況に対して、近隣の定置網漁業者4経営体が平成24年に組織した「中芸定置網漁業振興協議会」は中芸地区（当地区を含む近隣の4つの地域の総称）の定置網漁業の振興を促進し、当該漁業の持続的発展に資することを目的とした取組を行っている。その取組内容は主に地元及び県内イベントでの鮮魚販売による定置網漁獲物の知名度及び魚価向上で、これらの取組は再生委員会の構成員でもある奈半利町や田野町、安田町、高知県室戸漁業指導所が積極的に支援している。また、資源の増大を目的としたイサキやヒラメ等の種苗放流においても漁協と奈半利町、田野町及び安田町が連携して取組を続けている。

（2）その他の関連する現状等

本地域は高知県の中心部である高知市から南東へ約50 kmから60 kmの地点にあり、安田町、田野町、奈半利町加領郷地区の3つの地域で構成されている。人口は各町ともに約2,000人～3,000人で、農業や醸造業、製造業等が盛んに行われており、特産品としては安田町のナスや日本酒、田野町の日塩、奈半利町のいちじくや赤牛等が挙げられる。

本地域の物流については国道55号が主要道路として、地域住民、産業開発、地域振興等に重要な役割を果たしているが、国道55号の代替路線はなく、災害などにより通行止めになると孤立する恐れがあることが課題となっている。加えて本地域では都市部へ向けた高規格道路が未整備であること、公共交通機関が少ないことから、都市部への物流が課題となっている。

3 活性化の取組方針

（1）前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1	漁業収入向上のための取組
①	大型定置網漁業への選別機の導入及びイベントへの定置漁獲物の出品、釣り漁業におけるキハダの高鮮度化や土佐沖どれ金目鯛のPR資材の配付による魚価の向上
②	大型定置網漁業における操業期間の周年化による漁業所得の向上
③	イサキやヒラメなどの高単価魚種の種苗放流の継続実施
④	クロマグロの資源管理
2	漁業コスト削減のための取組
①	船底清掃の励行、出港時間の前倒し、減速航行の徹底による燃油使用量の削減
②	漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業などを活用した漁業経営の安定化
3	漁村の活性化のための取組
①	高知県漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保

(3) 資源管理に係る取組

高知海区漁業調整委員会指示第 89 号（高知県海面におけるうみがめの採捕について）
高知海区漁業調整委員会指示第 100 号（高知海区内における定置漁業の保護区域及び免許区域について）
芸東地区沿岸漁業協議会申し合せ事項（キンメダイ漁における操業方法や漁具の制限）

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和 6 年度） 所得向上率（基準年比）-5.38%

漁業収入向上のための取組	○選別機の導入による魚価向上 大型定置網 1 経営体では、人員不足により漁獲物の選別に時間がかかることに加え、選別精度も仲卸業者の要求を満たしていないことから、魚価が近隣地域と比較して低い現状がある。近隣地区の大型定置網で導入実績がある機器と同じ方式の選別機を新たに導入し、選別時間の短縮及び仲卸業者のニーズに対応した精度の高い選別を行うことによって魚価向上を図る。 ○大型定置網における操業周年化 大型定置網 2 経営体では、漁業権の関係上 8 月から 9 月末までは操業できなかったが、令和 5 年 9 月より周年操業が可能となったことから、8 月から 9 月に操業することで漁業収入を向上させる。
--------------	---

	○釣り漁業におけるキハダの高鮮度化 当地区では、主要漁獲対象種であったキンメダイの不漁により、代替魚種として高単価のキハダが重要になっている。しかし、他の地域と比較すると、漁業者によってキハダを漁獲した際の生き締めや内臓処理等の高鮮度処理技術に大きな差があり、魚価が低い現状にある。そこで、高鮮度化による単価向上に向け、1年目は当地区と他地区のキハダの処理技術の現状を調べ、課題を抽出し、処理方法を検討する。 ○種苗放流 イサキやヒラメなどの定置網で漁獲される高単価魚種の種苗放流を実施する。放流は生残率が高まるよう、各魚種の生息域で放流するなど、各魚種の生態を考慮した放流手法を実施する。 ○クロマグロの資源管理 クロマグロの漁獲制限期間においては、混獲されたクロマグロを放流し資源を増大させる。 ○イベントへの出品、直販 地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品することで、本地域の水産物の知名度向上を図るとともに、単価向上を目指す。加えて、土佐沖どれ金目鯛の販促資材を関係者へ提供し、消費者に配布することで知名度向上及び魚価向上に努める。
漁業コスト削減のための取組	○燃油使用量の削減 全漁業者は、年間1回以上の船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、燃油使用量を削減する。 ○経営安定化 漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度に加入する漁業者の漁業経営の安定化を図る。
漁村の活性化のための取組	○漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保 高知県漁業就業支援センターのホームページへの求人情報の掲載や、漁業就業フェアへ参加することで、新規漁業就業者の確保に努める。 ○大型定置網の周年操業化 操業周年化により雇用が周年化され、これまでの休漁期における雇い止めが解消されることで新規就業者の定着につながることから、地域の活性化にも貢献する。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築支援事業 漁業収入安定対策事業

	クロマグロ混獲回避活動支援事業
--	-----------------

2 年目（令和 7 年度） 所得向上率（基準年比）2.51%

漁業収入向上の ための取組	○選別機の導入による魚価向上 大型定置網漁業者 1 経営体において、1 年目に導入した選別機を活用し、選別時間の短縮及び仲卸業者のニーズに対応した精度高い選別による魚価の向上を図る。 ○大型定置網における操業周年化 引き続き 8 月と 9 月に操業することにより、漁業所得の向上を図る。 ○釣り漁業におけるキハダの高鮮度化 1 年目に検討した処理方法について、当地区の一部の漁業者に周知し、処理技術の向上を図ることで単価を向上させる。 ○種苗放流 イサキやヒラメなどの定置網で漁獲される高単価魚種の種苗放流を実施する。放流は生残率が高まるよう、各魚種の生息域で放流するなど、各魚種の生態を考慮した放流手法を実施する。 ○クロマグロの資源管理 クロマグロの漁獲制限期間においては、混獲されたクロマグロを放流し資源を増大させる。 ○イベントへの出品、直販 地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品することで、本地域の水産物の知名度向上を図ると共に、単価向上を目指す。加えて、土佐沖どれ金目鯛の販促資材を関係者へ提供し、知名度向上及び魚価向上に努める。
漁業コスト削減 のための取組	○燃油使用量の削減 全漁業者は、年間 1 回以上の船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、燃料使用量の削減を図る。 ○経営安定化 漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度加入漁業者の漁業経営の安定化を図る。

漁村の活性化のための取組	○漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保 高知県漁業就業支援センターのホームページへの求人情報の掲載や、漁業就業フェアへ参加することで、新規漁業就業者の確保に努める。 ○大型定置網の周年操業化 周年雇用を継続し、新規就業者の定着を図る。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築支援事業 漁業収入安定対策事業 クロマグロ混獲回避活動支援事業

3 年目（令和 8 年度） 所得向上率（基準年比）5.12%

漁業収入向上のための取組	○選別機の導入による魚価向上 大型定置網漁業者 1 経営体において、引き続き選別機を活用し、選別時間の短縮及び仲卸業者のニーズに対応した精度高い選別による魚価の向上を図る。 ○大型定置網における操業周年化 引き続き 8 月と 9 月に操業することにより、漁業所得の向上を図る。 ○釣り漁業におけるキハダの高鮮度化 2 年目に一部の漁業者が実施した処理方法を当地区の漁業者に周知し、キハダの高鮮度処理技術を漁業者間で統一することで単価を向上させる ○種苗放流 イサキやヒラメなどの定置網で漁獲される高単価魚種の種苗放流を実施する。放流は生残率が高まるよう、各魚種の生息域で放流するなど、各魚種の生態を考慮した放流手法を実施する。 ○クロマグロの資源管理 クロマグロの漁獲制限期間においては、混獲されたクロマグロを放流し資源を増大させる。 ○イベントへの出品、直販 地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品することで、本地域の水産物の知名度向上を図ると共に、単価向上を目指す。加えて、土佐沖どれ金目鯛の販促資材を関係者へ提供し、知名度向上及び魚価向上に努める。
--------------	---

漁業コスト削減 のための取組	○燃油使用量の削減 全漁業者は、年間1回以上の船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、燃料使用量の削減を図る。 ○経営安定化 漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度に加入する漁業者の漁業経営の安定化を図る。
漁村の活性化の ための取組	○漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保 高知県漁業就業支援センターのホームページへの求人情報の掲載や、漁業就業フェアへ参加することで、新規漁業就業者の確保に努める。 ○大型定置網の周年操業化 周年雇用を継続し、新規就業者の定着を図る。
活用する支援措 置等	漁業経営セーフティーネット構築支援事業 漁業収入安定対策事業 クロマグロ混獲回避活動支援事業

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）7.74%

漁業収入向上の ための取組	○選別機の導入による魚価向上 大型定置網漁業者1経営体において、引き続き選別機を活用し、選別時間の短縮及び仲卸業者のニーズに対応した精度高い選別による魚価の向上を図る。 ○大型定置網における操業周年化 引き続き8月と9月に操業することにより、漁業所得の向上を図る。 ○釣り漁業におけるキハダの高鮮度化 漁業者間で高鮮度処理技術が統一されることで高鮮度なキハダが安定して供給され、単価が向上する。 ○種苗放流 イサキやヒラメなどの定置網で漁獲される高単価魚種の種苗放流を実施する。放流は生残率が高まるよう、各魚種の生息域で放流するなど、各魚種の生態を考慮した放流手法を実施する。 ○クロマグロの資源管理
------------------	---

	クロマグロの漁獲制限期間においては、混獲されたクロマグロを放流し資源を増大させる。 ○イベントへの出品、直販 地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品することで、本地域の水産物の知名度向上を図ると共に、単価向上を目指す。加えて、土佐沖どれ金目鯛の販促資材を関係者へ提供し、知名度向上及び魚価向上に努める。
漁業コスト削減のための取組	○燃油使用量の削減 全漁業者は、年間1回以上の船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、燃料使用量の削減を図る。 ○経営安定化 漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度に加入する漁業者の漁業経営の安定化を図る。
漁村の活性化のための取組	○漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保 高知県漁業就業支援センターのホームページへの求人情報の掲載や、漁業就業フェアへ参加することで、新規漁業就業者の確保に努める。 ○大型定置網の周年操業化 周年雇用を継続し、新規就業者の定着を図る。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築支援事業 漁業収入安定対策事業 クロマグロ混獲回避活動支援事業

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）10.35%

漁業収入向上のための取組	○選別機の導入による魚価向上 大型定置網漁業者1経営体において、引き続き選別機を活用し、選別時間の短縮及び仲卸業者のニーズに対応した精度高い選別による魚価の向上を図る。 ○大型定置網における操業周年化 引き続き8月と9月に操業することにより、漁業所得の向上を図る。 ○釣り漁業におけるキハダの高鮮度化 引き続き漁業者がキハダの高鮮度処理に取り組み、高鮮度なキハダが安定して供給されることで単価が向上する。
--------------	--

	○種苗放流 イサキやヒラメなどの定置網で漁獲される高単価魚種の種苗放流を実施する。放流は生残率が高まるよう、各魚種の生息域で放流するなど、各魚種の生態を考慮した放流手法を実施する。 ○クロマグロの資源管理 クロマグロの漁獲制限期間においては、混獲されたクロマグロを放流し資源を増大させる。 ○イベントへの出品、直販 地元ならびに県内で実施されるイベントへ「定置朝どれ鮮魚」を出品することで、本地域の水産物の知名度向上を図ると共に、単価向上を目指す。加えて、土佐沖どれ金目鯛の販促資材を関係者へ提供し、知名度向上及び魚価向上に努める。
漁業コスト削減 のための取組	○燃油使用量の削減 全漁業者は、年間1回以上の船底清掃と減速航行、出漁時間の前倒しを徹底し、燃料使用量の削減を図る。 ○経営安定化 漁業経営セーフティーネット構築支援事業、漁業収入安定対策事業の加入を促進し、制度に加入する漁業者の漁業経営の安定化を図る。
漁村の活性化の ための取組	○漁業就業支援センターと連携した新規就業者の確保 高知県漁業就業支援センターのホームページへの求人情報の掲載や、漁業就業フェアへ参加することで、新規漁業就業者の確保に努める。 ○大型定置網の周年操業化 周年雇用を継続し、新規就業者の定着を図る。
活用する支援措 置等	漁業経営セーフティーネット構築支援事業 漁業収入安定対策事業 クロマグロ混獲回避活動支援事業

(5) 関係機関との連携

なし

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

漁業者、漁協、県が各1名以上ずつ集まり、プラン進捗状況の確認及び課題について年1回以上協議する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

大型定置網漁業1経営体における魚価の向上	基準年	平成30年～令和4年5中3平均：	128.5	(円/kg)
	目標年	令和10年：	147.7	(円/kg)

大型定置網漁業1経営体における新規漁業就業者の確保及び定着	基準年	令和5年：	3	人
	目標年	令和10年：	5	人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

【大型定置網漁業1経営体における魚価の向上】

大型定置網漁業1経営体において、選別機の導入による選別精度の向上及び選別時間の短縮による単価向上を計画している。近隣地区において、同一選別機の導入事例があり、導入年の前後5年間の5中3平均を比較すると約16%の単価向上がなされていることから、1年あたり3%、5年目に15%の単価向上を見込む。よって、所得目標以外の成果目標は大型定置網漁業1経営体における漁獲物の平均単価について、基準年の5中3平均である128.5円/kgから15%向上した147.7円/kgに設定した。近隣地区における同一漁業種、同一機種の実績を参考とし、導入予定地区の平均単価は既導入地区よりも低いことから、目標の設定は無理なく妥当と判断した。

【大型定置網漁業1経営体における新規漁業就業者の確保及び定着】

大型定置網漁業1経営体において令和5年現在の従事者数は3名であり、理想の人数は5名であることから、2名の新規雇用を見込んだ5名を目標値とした。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業	漁業者と国の拠出により、燃油価格などが高騰したときに補填金を交付する →漁業経費の削減に寄与する
高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金	漁業セーフティネット構築事業を活用している漁業者について、省力化やデジタル化、省エネに関連する機器の導入について、一定の費用を県が補填する →プランにおいて、大型定置網漁業における単価向上に必要な選別機の導入を挙げている
クロマグロ混獲回避活動支援事業	混獲されたクロマグロを放流した際に、その作業費用を補填 →クロマグロの資源保護により、漁業収入の向上に寄与する